



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）  
そんな会員向け通信を目指しています。



北陸ブロックプロジェクトは、地域デザイン活動の一環として昨年4月に発足。能登高校へミシン・書架を寄贈。能登半島地震復興援助先決定に際して、故郷のネットワークを駆使し、適時適所の援助を可能にした。南砺市の「なんチャレ 2024 ビジネスコンテスト」では、採択には至らなかったものの、DFリソースである会員のアイデアやノウハウを活用した提案が行われた。会員の紹介で、穴水町でガソリンスタンドを営みながら地元復興に奔走する森本敬一氏の講演会等を開催、能登地方の現状を会員に伝えた。

試行錯誤の一年間の活動を通じ、これからの課題も見えてきた。遠方の活動継続のための体制整備、会員が活動に割ける時間の検討、及び「できる事は何か」をはっきりさせることが必要だろう。

今後は、もっと現地を知る、当地のキーマンとのパイプの構築、大学の地域創生学部、地元高校の地方創生取り組みなどとも連携した活動に発展させていければと思う。

談：プロジェクトリーダー 川崎有治（1089）

## ◆ ◆ 私の推し街 連載 ◆ ◆



赤堀智行（0899）

十勝地方は北海道の東部に位置し、およそ 120 年前に渋沢栄一らによって開拓された。日本に農業

の重要性を説き、牛馬の繁殖や大規模農法を導入すべく調査を行い、鬱蒼とした未開の地に鍬が打ち下ろされたのだ。

先人たちは、想像を絶する苦難に耐えて原始の樹林と闘いながら今日の基礎を築き、十勝は日本農業の中心地、酪農の先進地となり、この不撓不屈の精神が脈々と継承されている。

また、日高山系と大雪山系からの豊富な水資源や昼夜の寒暖差など、農産物にとって恵まれた自然環境にある。そこから生まれる甜菜や小豆など砂糖の原料、豊富な乳製品によってスイーツ王国、ナチュラルチーズの一大生産地となっている。

十勝平野は広大で景観も良く、北には「サホロリゾート」や大雪山・トムラウシ山の山並み、東には然別湖・日本一寒く、オーロラの観測地陸別町、南はナウマンゾウの発掘地や将来の宇宙基地の大樹町がある。



穀倉地帯を舞う白鳥の群れ  
撮影：赤堀智行

世界にドイツと日本の 2 カ所にしかない太古の草木の堆積によるモール温泉地や多種多様の野生鳥獣の生息地でもあり、十勝平野を舞台としたのどかな田園地帯を求めて訪れる国内外からの観光客が引きも切らない。



## 本部便り

### 《イベントのお知らせ&報告》

・6月24日 10:00~11:30 地域デザイン勉強会@航空会館

「健康生きがい権」 講師 元厚生労働省事務次官の辻哲夫氏

個人の健康維持の実現と国の医療介護費用の増加抑制を同時に達成する方法についてお話しいただきます。

・4月21日 「100年学校～人生後半のデザインを考えませんか」講座第2回開講

坂本洋会員（358）ら4人が参加しました。地域デザイン総研所長・牧野篤氏が代表理事を務める人生100年社会デザイン財団主催で、高齢者に自らが住む地域内でのコミュニケーションを促すことが狙いのプログラムです。

\*\*お知らせ等の詳細は HP でご覧いただけます <https://directforce.net/category/regional-design/>

コメント・問い合わせ先：ご意見、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしております

[dfchiiki-tsushin@directforce.org](mailto:dfchiiki-tsushin@directforce.org)

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

地域デザイン通信がスタート。早速多くのご意見、ご感想ありがとうございます。手応えを感じると共に、期待に応える紙面作りに思いを新たにしました。(編集後記 M)